

第1部 総論

1. 計画策定の目的・基本的考え方

食育計画の目標に向かって、市民・地域・関係団体・行政ができることを取り組んでいきます

いつまでも元気で自分らしく暮らせる佐渡を願い、「食」を通じて健康でいきいきと元気に生活するための食育推進計画を策定しました。

食は、人間が生きていく上で基本的な営みの1つであり、心身ともに健康な生活を送るためには健全な食生活は欠かせないものです。食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。食育を推進することは市民一人ひとりが生涯を通じて健全な生活を実現して健康を確保するために大変重要です。

そのためには、市民一人ひとりが自らの意思で食育運動を推進すること、地域・行政・関係団体等が推進することを明確にして、積極的に実践していくことが必要です。佐渡市ではそれぞれの分野で食育の取り組みがされていましたが、計画策定の機会に食育の目標を共有し、共通認識のもと市民・地域・行政・関係団体等が連携して実践していくことをめざしていきます。

2. 食育とは

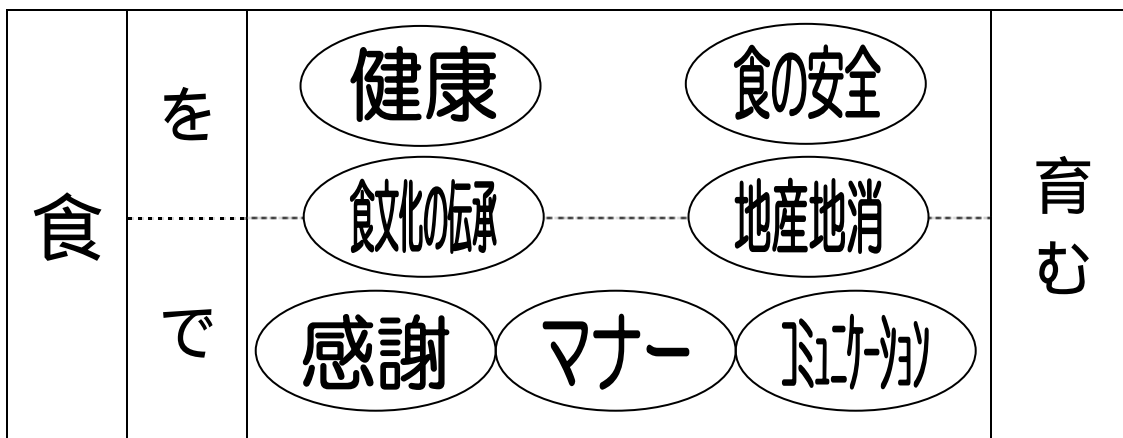
食育とは、様々な経験を通じた「食」に関する知識の獲得

「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人材の育成を行うことと考えます。食育をどのような視点で推進していくか、考え方として

食育を

「食」を	育む
「食」で	育む

 とし、食育のキーワードを整理してみました。

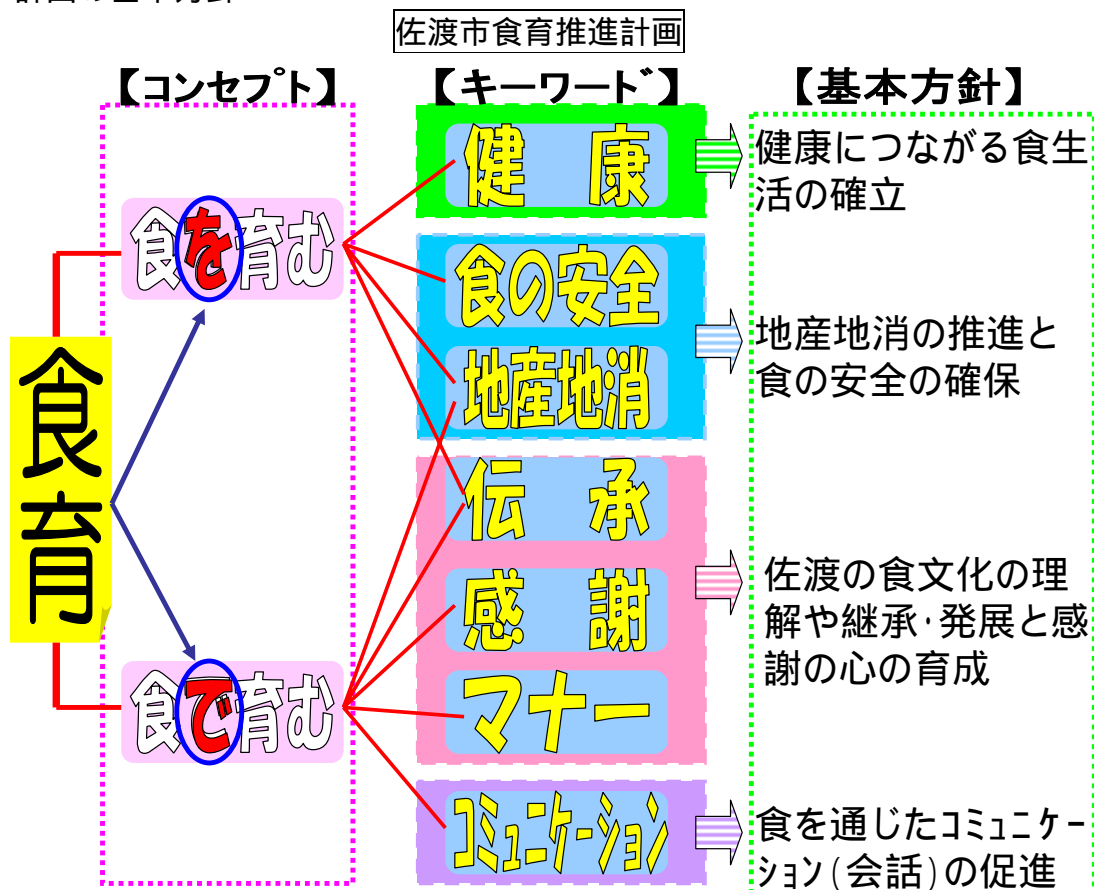


食育の考え方に基づき、「食育」に関するキーワードを
 「食を育む」ものには、「健康」「食の安全」「地産地消」
 「食で育む」ものには、「伝承」「感謝」「マナー」「コミュニケーション」のキ
 ーワードがあると考えました。「地産地消」と「伝承」については「食を育
 む・食で育む」両方の面があると考えます。

食育に関する7つのキーワード（重要な分野）は以下のように考えました。

- 「健康」.....食に関連する健康面
- 「食の安全」.....安全で安心できる食べ物を食べたい
- 「地産地消」.....佐渡でとれた物を食べたい
- 「伝承」.....食文化・行事食などの伝承料理の継承
- 「感謝」.....食べ物・作物を作ってくれた人・調理してくれた人等への感謝
- 「マナー」.....食事に関するマナー
- 「コミュニケーション」.....調理・食事などを通じてのコミュニケーションを
 増やしたい

3. 計画の基本方針



計画づくりで考えていく際には「健康」「食の安全・地産地消」「伝承・感謝・マナー」「コミュニケーション」の4つ柱で考えていきます。

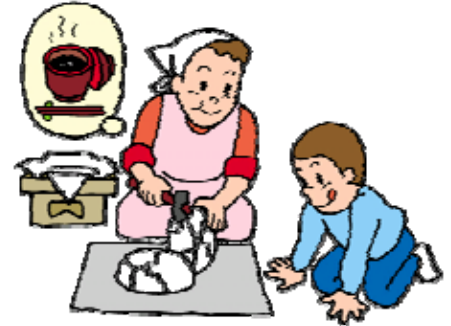
それぞれの基本方針を

健康につながる食生活の確立

地産地消の推進と食の安全の確保

佐渡の食文化の理解や継承・発展と感謝の心の育成

食を通じたコミュニケーション（会話）の促進



としました。

4．計画の位置づけ

この計画は「佐渡市総合計画」に基づき作成します。「健幸さど21計画」・「地産地消推進計画」との整合性を有する計画であり、「第4期佐渡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「次世代育成支援行動計画」など各種計画とも関連性を有する計画です。

* 食育推進計画に関する地産地消の推進については地産地消推進計画に基づいて行われます。

5．計画の期間

本計画の推進期間は、平成22年度までとします。その後は、健幸さど21計画と共に推進していきます。